



R I K K Y O
I S O T H
A N N I V E R S A R Y

立教学院創立150周年記念募金 最終ご報告

52億3,285万5,678円

目標金額50億円を達成。
皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。

立教学院は2024年、創立150周年を迎えました。そして、2018年11月から、次の「RIKKYO」をつくるためにご支援をお願いしてまいりました創立150周年記念募金は、おかげさまで募金期間終了の2024年3月末日までに目標額の50億円を達成することができました。これもひとえに、立教の精神・校風を愛し、心を寄せてくださったすべての皆さまのご協力の賜物です。厚く御礼申し上げます。

いただいたご寄付は、立教学院の教育研究環境整備、人材育成、奨学支援またご指定の事業支援などに充当させていただき、さらなる学院の発展を図ってまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともあたたかいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



立教学院 理事長
福田 裕昭

【募金期間】 2018年11月1日～2024年3月31日

【目標金額】 50億円

立教学院創立150周年記念募金 内訳

	件数	金額(円)
RIKKYO NEXT募金	25,073	2,741,803,059
特別用途寄付 ※1	289	1,124,352,126
教育振興資金 ※2	5,780	1,366,700,493
総計	31,142	5,232,855,678

※1 受託研究、寄付講座、遺贈、校友会奨学金 等

※2 学院各校の保護者様からご支援をいただく寄付

※3 学部、体育会各部、緊急奨学支援、ウクライナからの学生支援、

立教箱根駅伝2024事業、小学校新校舎建設事業 等

RIKKYO NEXT募金

	件数	金額(円)
立教学院	10,275	892,289,745
立教大学	4,833	214,019,523
立教新座中学校・高等学校	494	33,211,310
立教池袋中学校・高等学校	262	36,259,220
立教小学校	627	155,539,128
使途指定寄付 ※3	8,582	1,410,484,133

創立150周年記念募金の経過と特色

2018年11月から開始致しました創立150周年記念募金は、途中コロナ災禍にも見舞われ、校友の集いや各種立教会に出席しての寄付のお願いが制限されるといった事態にも直面致しましたが、「緊急奨学支援（コロナウイルス感染拡大対策等）」や「立教箱根駅伝2024事業」、「小学校新校舎建設事業」等、使途や目標額を明確にした寄付のお願いをさせて頂き、折に触れその結果や成果についてお伝えするというスタンスで募金活動を継続して参りました。

また、コロナ災禍で金融機関の窓口へご足労頂くことも制限されるような状況もございましたので、これまでのご入金方法に加え、インターネット募金の更なる告知、また新規にコンビニエンスストアでご入金頂ける払込用紙をニュースレターに同封する等、寄付手段の多様化を図ったことも奏功し、皆さまから目標額を大きく上回るご芳志を頂戴する結果となりました。

校友をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに、改めまして厚く御礼申し上げます。

立教学院創立150周年記念募金 使途等のご報告

2024年の創立150周年を記念し、2018年11月よりスタートした「立教学院創立150周年募金」。
「学校教育の進化」と「一貫連携教育の強化」を進め、学院各校の学びをつなぎ、未来をつくる事業です。

目標金額の50億円を超えてご寄付をいただいた、皆さまからの厚いご芳志は、
立教の未来をつくるために、有益に活用させていただきます。

立教大学

学びを深く、広く学べる
「RIKKYO Learning Style」の強化

立教新座中高

グローバルリーダー育成のための
プログラムをさらに充実

各校の特色をさらに強化し
新たな時代を生き抜く人材を育成する

学校教育の進化

立教池袋中高

生き方にテーマのある主体的な人間育成、
多種多様な学習活動や体験学習を展開

立教小学校

新教育コンセプト
「自立・協奏する力と心を育む真正な学び」を展開

大学×中高×小学

さまざまなコラボレーションによる
深化させた学習環境の展開

各校が連携することで、
立教での学びを深化させる

一貫連携教育の進化

大学×高校

高校生が大学授業に参加できる
グローバル教育の進展

各校の主な使途



立教大学

- RIKKYO Learning Style第2ステージの推進
- 新学部構想
- 教学発展を支えるキャンパスの整備計画
- 教育高度化に向けた情報戦略の推進
- 国際化の取り組み
- 「立教箱根駅伝2024」事業の推進



立教新座 中学校・高等学校

- グローバルリーダー育成のためのプログラム充実
- アクティブ・ラーニングを取り入れた教育活動の推進
- ICT教育の推進と環境整備
- 学習環境・安全性向上を目的とした施設整備



立教池袋 中学校・高等学校

- リーダーシップ教育の新たな展開
- キャリア教育の充実
- ICT利活用の推進
- 学習環境・安全性向上を目的とした施設整備



立教小学校

- 新教育コンセプトの展開「自律・協奏する力と心を育む」
- 特色ある英語教育の展開
- 新教育コンセプトを具現化する新校舎の建設
- ICT活用による教育の拡張

主な使途指定寄付の実績

(引き続き「セントポール募金(2024年6月開始)」でのご支援をお願い申し上げます)

1. 緊急奨学支援(新型コロナウイルス感染拡大対策等)	1,129件	2億7,611万1,380円	2020年5月～
2. ウクライナからの学生支援	143件	2,389万2,398円	2022年5月～
3. 「立教箱根駅伝2024」事業	2,171件	2億4,172万2,887円	2018年11月～
4. 小学校新校舎建設事業	844件	1億7,250万5,262円	2021年3月～※
5. 旧江戸川乱歩邸施設整備事業	42件	113万7,674円	2023年4月～※

※告知は2023年6月～

1. 緊急奨学支援(新型コロナウイルス感染拡大等)

学びと健康の支援を続けます

指定寄付「緊急奨学支援」に多大なるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。これまで学院各校が実施した様々な感染症対策の費用として、緊急性の高いものから順次執行させていただきました(2020年度:8,445万円、2021年度:7,200万円、2022年度:7,309万円)。本学の取り組みは、全国の進学校739校の進路指導教諭を対象として実施されたアンケート(2021年度)「コロナ対応が上手だったと思われる大学」において、立教大学が全国2位にランキング(出典:大学通信)

されるなどの評価をいただきました。皆様からのご芳志が、このような評価に結びついていることを、あらためて感謝致します。

当該指定寄付は新型コロナウイルス感染症対策のみならず、新たな感染症や自然災害等、緊急性の高い学生支援に拠出する制度となっておりますので、2024年度につきましては、「令和6年能登半島地震」で被災した学生への各種支援の原資として活用させて頂く予定です。

2. ウクライナからの学生支援

ウクライナの学生たちは学びを継続中

立教大学では、2022年9月にウクライナから留学生5名を受入れました。留学生の渡航費・生活費・寮費等は立教大学で支給しており、その一部を指定寄付「ウクライナからの学生支援」から充当させていたいております。入学時に「このキャンパスで学び、色々な経験をする

ことでウクライナの将来に貢献できるようになりたい」との思いを語った学生たちは、2023年9月より3名は正規学生として、2名は特別外国人学生として学びを継続しています。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

VOICE

Q. 立教大学でのキャンパスライフはいかがですか?

異文化コミュニケーション学部(NEXUSプログラム1年次生)



立教大学には様々なクラブやサークル、公共の場があるので、他の人とお話をしたり、友達を見つかりやすい機会が多く、大学の落ち着いた雰囲気、安心感を与えてくれます。立教大学での勉強を終えたら母国に戻り、日本で得た知識を積極的に活用したいと思っています。立教大学で学ぶ機会を与えてくれたことに感謝しています。

経営学研究科 特別外国人学生



貴重なご支援のおかげで、立教大学での充実した経験を得ることができました。立教のキャンパスライフは、文化の多様性と温かさに満ちています。授業やイベントを通じて、日本とウクライナ間の架け橋となることのできる喜びを感じています。今後も、感謝の気持ちを忘れず、ご支援に報いる機会を大切に参ります。

3. 「立教箱根駅伝2024」事業

箱根駅伝で総合14位 昨年より4ランクアップの大躍進!

2024年1月2日～3日に開催された第100回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)に、体育会陸上競技部男子駅伝チームが2年連続で出場。往路は3区で馬場賢人さんが区間8位の力走を見せるなど、5時間31分37秒の17位で初日を終えました。復路では、最終10区で関口純太さんが区間3位の激走を見せるなど、全中継所で1本の襷をつなぎ、11時間3分4秒の総合14位という成績を取めました。第101回大会に向け、皆さまのご支援が何よりの心の支えとなります。引き続きご支援のほど、よろしく御礼申し上げます。



(c)Getsuriku

〈裏面もご覧ください〉

4. 小学校新校舎建設事業

2023年4月より開始しました「小学校新校舎建設事業」用途指定寄付に対し、多くの皆様からご芳志を頂戴しております。心より御礼申し上げます。
新校舎は、「自律・協奏する力と心を育む真正な学び—プロジェクト型学習を中心とした終わらない学びへ—」という、立教小学校の“新しい教育活動”を展開するために、教室での座学中心の学びから、様々な人数・形態での学びが教室から溢れ出すような、学校全体が学び場であり遊び場となる新校舎に生まれ変わります。立教学院の教育理念と教育目標の基礎となる初等教育の一層の充実を図るための新校舎建設に、皆さまからのご支援をよろしくお願い致します。



北側外観（イメージ）

「小学校新校舎建設事業」用途指定寄付

募金目標金額 **5億円**（総事業費約64億円）

【寄付金額】 一口1万円（ぜひ複数口でのご寄付をよろしくお願いします） 【募金期間】 2023年4月1日～2027年3月31日

【寄付方法】 同封の振込用紙の「指定寄付欄」に「小学校新校舎建設事業」とご記入の上、金融機関窓口にてお振込みいただくか、インターネット募金でのご支援をお願い申し上げます。

小学校新校舎
建設事業の
詳細はこちら



インターネット
募金サイト



【立教小学校新校舎建設事業 寄付者顕彰制度 概要】

10万円以上ご寄付の方
小学校旧校舎nanoblock※1



すべての寄付者の方
立教小学校
クリスマスカードの贈呈※2



このほか、ご寄付いただきました金額に応じて、旧校舎写真集、旧校舎ヒマラヤスギ・桜等を用いた加工品、在校生児童作品をモチーフにした品など、「小学校新校舎建設事業」用途指定寄付期間（2027年3月31日まで）終了時に贈呈する準備を進めております。

※1 年度末までに集計し、5月中旬にお届けさせていただきます。お届けは期間中1回のみと致します。 ※2 毎年11月に集計し、その年の12月にお届けします。

5. 旧江戸川乱歩邸施設整備事業

2002年から、立教大学の隣地で暮らした探偵小説の巨星・江戸川乱歩の邸宅と土蔵（豊島区指定有形文化財）、蔵書等の資料が、立教大学に帰属することとなりました。そして2006年には乱歩の旧蔵書や資料を核として、邸内に江戸川乱歩記念大衆文化研究センターを設置し、乱歩関連資料等の研究・保存・公開、大衆文化に関わる研究を進めてまいりました。

このたび、経年劣化による老朽化が進行している母屋と洋館の改修整備を行い、乱歩に関する展示室および資料保管庫の充実をめざし、「旧江戸川乱歩邸施設整備事業」を実施する運びとなりました。皆様からのご支援のほど、よろしくお願い致します。



撮影：アライテツヤ / ©Daisy Music

150th Anniv. 立教フェスティバル ～ THE WILLIAMS DAY ～ 開催

2023年12月2日に、立教学院創立150周年記念イベント「150th Anniv. 立教フェスティバル ～ THE WILLIAMS DAY～」が開催されました。立教学院の創立者であるウィリアムズ主教を記念するこの日、各界で活躍する「立教人」たちが大集結。豪華メンバーによるトークショーをはじめ、現役学生とトップアーティストらがコラボレートするパフォーマンスなどが行われ、大盛況のうちに終了しました。

